

# クマのこと、 知っていますか？

<sup>ひろしまけん</sup> 広島県には<sup>せいぞく</sup> ツキノワグマが生息しています。

<sup>せいぞく</sup> クマが生息しているということは、それだけ<sup>しぜん</sup> 自然が<sup>ゆた</sup> 豊かな<sup>しょうこ</sup> 証拠です。

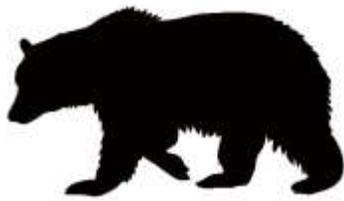
でもここ<sup>すうねん</sup> 数年は、<sup>やま</sup> 山だけでなく<sup>みんか</sup> 民家の<sup>まわ</sup> 周りでも<sup>ひんぱん</sup> クマが<sup>しつぱつ</sup> 頻りに<sup>もんだい</sup> 出沒し、問題となっています。

なぜ、<sup>さと</sup> クマは里まで<sup>おい</sup> 歩いてくるのでしょうか。

<sup>みな</sup> 皆さんの<sup>せいかつしゅうかん</sup> 生活習慣 <sup>が</sup>、<sup>かなが</sup> クマをおびきよせていないかよく<sup>であ</sup> 考え、もし<sup>あ</sup> 出会ってしまったらどうすればよいのか、よく<sup>し</sup> 知っておきましょう。

<sup>ゆた</sup> この<sup>しぜん</sup> 豊かな<sup>いじ</sup> 自然を<sup>にんげん</sup> 維持しながら、<sup>どうぶつ</sup> 人間と<sup>きょうぞん</sup> 動物が<sup>しゃかい</sup> 共存 <sup>じつげん</sup> できる<sup>いまいぶん</sup> 社会を実現するため今<sup>なに</sup> 自分に<sup>でき</sup> 何が<sup>かなが</sup> 出来るか<sup>かんが</sup> 考えて<sup>い</sup> いきましょう。

府中市



# ツキノワグマってどんな生き物？

## ● みみ 耳

ひじょう よ ていおん き  
非常に良いが、低音は聞こえにくい。  
かぜ つよ ひ あめ ひ あくてんこう ひ  
風の強い日、雨の日などの悪天候の日は  
ひと はっ おと き きけん  
人の発する音が聞こえづらいため危険。

## ● たいちょう 体長

せいじゅう  
成獣で110~150cm



## ● はな 鼻

ひと けはい にお びんかん  
人の気配もわかるほど臭いには敏感。  
あめ ひ にお き きけん  
雨の日は臭いが消えやすいため危険。

## ● め 目

あまり良くない。

## ● キバ

ひじょう すろど たいへんきけん  
非常に鋭く、大変危険。

## ● つめ 爪

ひじょう すろど  
非常に鋭く、大変危険。

## ● あし 足

きのぼ あなほ とくい  
木登りや穴掘りが得意。  
ひと はや はし  
人より早く走る。

## ● たいじゅう 体重

せいじゅう  
成獣で80~120kg

## ● しゅうせい 習性

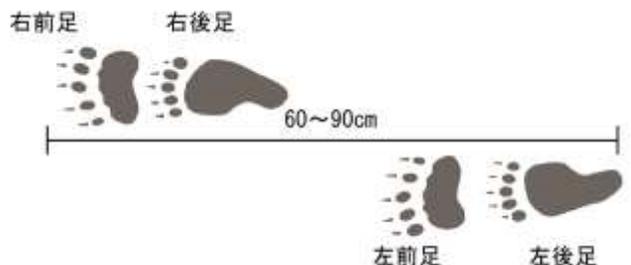
きゆう せなか み はし に  
急に背中を見せて走って逃げると  
はんしやてき お  
反射的に追いかけてくるといわれています。

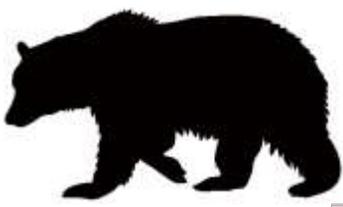
## ● せいかく 性格

おんこう おくびょう  
温厚で臆病なため、びっくりすると  
にんげん おそ  
人間を襲うこともある。

## ● まえあし 前足

## ● うしろあし 後足





# ツキノワグマの1年

はる 春

冬眠から目覚めて体力回復。

子グマは1歳半頃になるまで、母グマと一緒に行動します

ふゆ 冬

冬眠中は何も食べません。

妊娠したメスは冬眠中に1~2頭の子供を産みます。

なつ 夏

繁殖期。

行動が活発になります。

あき 秋

冬眠に備えて栄養蓄積のため活発に活動します。

木の実などの多くの食べ物が必要です。

## 広島県の現状

広島、島根、山口にまたがる地域に生息しているツキノワグマは他の地域から孤立しており、環境省が絶滅のおそれのある地域個体群に指定し狩猟による捕獲が禁止されています。

このことから、近年、生息域は拡大しつつあり、推定生息頭数は安定傾向にあります。

一方で、農耕地や人家周辺に出没し、農林作物等への被害を発生させるとともに人身被害をもたらすこともあるなど、地域住民との間に軋轢が生じています。

## なぜ山からでてくるの？

はっきりとした原因はわかりませんが、冬眠から目覚め体力を回復したり、冬眠に備えてたくさんの食糧が必要になりますが山で食べるものが不足すると食糧を求めて行動範囲が広がることや、かつては里山を人が手入れすることによってクマなどの野生動物が近づきにくい環境がありましたが、最近では過疎化などにより手入れがされなくなってしまったため人に出会わずに人家周辺に近づきやすくなり、住宅地などに出没していると言われています。

## 一番危険な時期は？

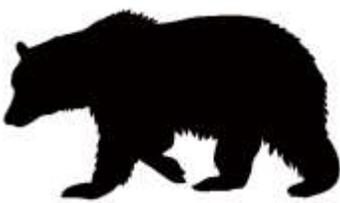
クマは春から秋の間が活動期です。「冬眠から目覚める春」や「冬眠の準備に追われる秋」にはエサを求めて活発に動き回ります。また、オスは繁殖期（6月頃）に気が立っていることが多くメスは子グマと一緒にいる期間は、子グマを守るため攻撃を加えることがあります。

## 出会いやすい天気や時間帯は？

雨や風の強い日や霧の濃い日は、人間の気配を感じにくくなるため注意が必要です。また、森で暮らすクマは昼行性ですが人里に下りて活動する時は夜行性になると言われています。夕方や早朝に活動が活発になると言われていますので、この時間帯は特に注意しましょう。

## どんなモノを食べているの？

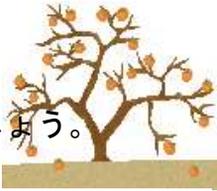
好物は、ドングリや栗をはじめ、アケビなどの果実、ハチなどの昆虫です。その場所にある食べ物なくなるまで食べ続ける「単一食」行動をとります。もちろん人間の好きな山菜や果実も大好物なので山菜採りなどは注意が必要です。



まいとしはる あき もくげきじょうほう  
 毎年春から秋にかけて、ツキノワグマの目撃情報がたくさんよせられています。  
 で あ かいひほうほう こんご たいさく かんが  
 クマに出会わないための回避方法や今後の対策について考えてみましょう。

かじつ はや しゅうかく  
 ●果実は早く収穫する。  
 かき くり だいこうぶつ  
 柿や栗などはクマの大好物です。

にわ かき ねら かとうせい たか はや しゅうかく  
 庭の柿を狙ってクマがやってくる可能性が高いのでできるだけ早めに収穫しましょう。  
 ふよう かじゆ ばっさい  
 不要な果樹は伐採しましょう。



す と のぞ  
 ●ハチの巣は取り除く。  
 くま は ハチミツが好物です。

す よ せんもんぎょうしゃ いらい じよきよ  
 ハチの巣はクマをおびき寄せるので専門業者に依頼するなどして除去しましょう。  
 ようほうのうか でんきさく たいさく  
 養蜂農家は電気柵などで対策をとりましょう。



しょくりょうひん かんり ちゅうい  
 ●食料品やペットフードの管理にも注意を。

そうこ のうさくもつ いぬごや た じれい  
 倉庫においた農作物や犬小屋のペットフードが食べられた事例もあります。  
 しょくもつ おくない い やがい ほうち  
 食物は屋内に入れ、野外に放置しないようにしましょう。



また、ペットフードの食べ残しがないように注意しましょう。

ぼこ かんり ちゅうい  
 ●ゴミ箱の管理やゴミに注意。

かてい で なま ゆういん かとうせい たか  
 家庭から出る生ゴミがクマを誘引する可能性が高くなります。

だ ちいき したが しゅうしゅう ちよくぜん おこな  
 ゴミ出しは地域のルールに従い、できるだけ収集の直前に行いましょう。

あじ ふくろ にんげん た もの あじ おぼ きけん  
 また、味のついた袋などで人間の食べ物の味を覚えてしまうと危険です。



てきせつ しょり  
 適切に処理しましょう。

ゆうがた そうちょう こうどう ちゅうい  
 ●夕方や早朝の行動には注意を。

もり く ちゅうこうせい ひとざと お かつどう とき やこうせい い  
 森で暮らすクマは昼行性ですが人里に下りて活動する時は夜行性になると言われています。

ゆうがた そうちょう かつどう かつぱつ い じかんたい とく ちゅうい  
 夕方や早朝に活動が活発になると言われていますので、この時間帯は特に注意しましょう。

こ ちゅうい  
 ●子グマにも注意。

かわい から といって こグマに近づいてはいけません。

こ ちか はは  
 子グマの近くには母グマがいます。

こ まも ひと おそ きけん  
 子グマを守ろうと人を襲うことがあるので危険です。



けいりゅうづ ちゅうい  
 ●溪流釣りでも注意。

みず おと かざむ ひと たが き  
 水の音や風向きで、クマも人もお互い気づきにくくなります。

つね しゅうい き くぼ  
 常に周囲に気を配りましょう。



やま はい  
 ●山に入るときは。

ふたりいじょう こうどう  
 二人以上で行動しましょう。

ちようかく きゅうかく すぐ ばあい ひと さき き  
 クマは聴覚や嗅覚が優れているため、ほとんどの場合、人よりも先に気がついて  
 しげ に  
 繁みなどに逃げていきます。

ふえ すず おと で けいたい じぶん そんざい し  
 笛や鈴、ラジオなど音の出るものを携帯し、自分の存在をクマに知らせましょう。





いちばん大切なことは、クマに出会わないようにすることですが、もし出会ってしまったらどうしたらいいのかを考えてみましょう。

## ◆クマがこちらに気づいていない場合。

### ●あわてない

あわてて物音をたてると、クマもあわてて興奮してしまうかもしれません。  
気づかれないようあわてず、騒がず、静かにその場を立ち去りましょう。

## ◆クマがこちらに気づいている場合。

### ●走って逃げない

クマは逃げるものを追う習性があるので背中を見せて走って逃げるのはたいへん危険です。

クマから目を離さないように、ゆっくりと後ずさりして逃げましょう。

ただし、クマと目を合わせることは、攻撃をしかけられているとクマが勘違いしてしまい危険です。

### ●騒がず、物を投げつけない

比較的近くで出会ってしまったときは大声で騒がないようにしましょう。

騒いでしまったり、近くにある物をクマに向かって投げたりすることは興奮させる可能性があるため危険です。

### ●気をそらす

持っている荷物などを置いてクマの注意をそらしゆっくりと逃げることも一つの方法です。

## ◆クマとばったり至近距離で出会った場合。

### ●自分の身を守る

ばったり目の前で遭遇してしまい、攻撃を加えられそうな場合は自分自身のケガをできるだけ最小限にすることが必要です。

首、腹部、顔を守るために、両手を首の後に回して、地面にうつぶせになるのも一つの方法です。

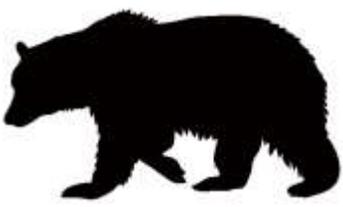
これは、首の大きな血管や腹部、顔面等をクマの爪や歯から守るためです。

※野生動物なので、絶対に安全といえる方法はありませんが、一般的にいわれている対処法です。

クマに出会って冷静に行動できる人は多くいません。

出会わないことがいちばん大切です。

クマがいる山では慎重に行動しましょう。



もくげき

## ◆ツキノワクマを目撃したら

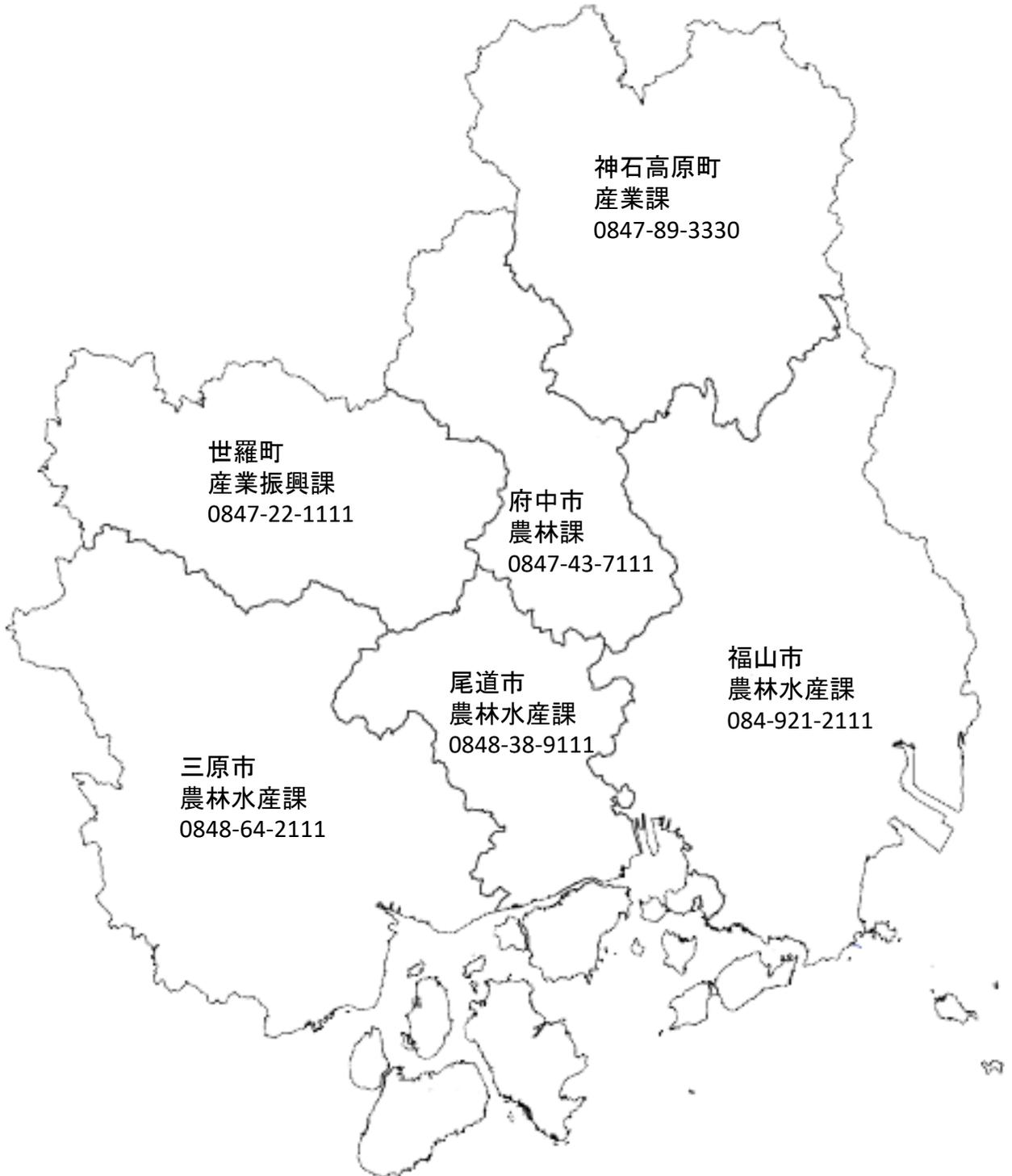
●もしツキノワクマを目撃したら市町の担当窓口まで連絡してください

もくげき

つうほう

## ◆ツキノワクマの目撃の通報は

---



# やま であ 山でクマと出会わないために

## ●自分の存在をクマに知らせる

クマは、聴覚や嗅覚が優れているため、

ほとんどの場合、人より先に人間の接近

を知って茂みなどに逃げていきます。

笛や鈴、ラジオなど音が出るものを携帯し自分

の存在をクマに知らせましょう！



## ●山菜取りは、ほどほどに

人間が好きな山菜は、クマにとっても大好物。

山菜のとれる季節はクマもエサを求めて活発

に動き回っていますので、糞や足跡などを見つ

けたらすぐに引き返しましょう！

また、山に入る際は、できるだけ2人以上で。

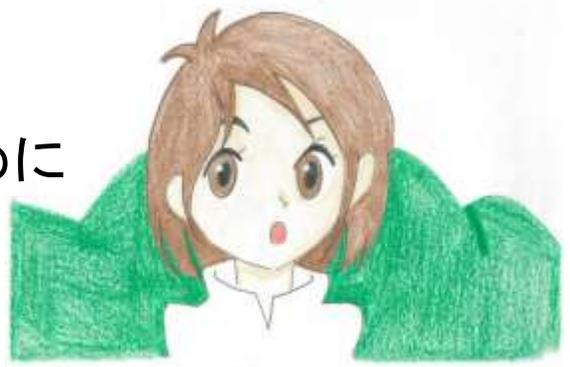


## ●悪天候の日は注意

雨や風の強い日、霧の濃い日は、クマも人の気

配に気づかず、至近距離まで接近することがあります。

普段以上に注意しましょう！



## ●朝や夕方の行動をさける

クマは、夜行性と思われていますが、日中も

活動しています。

特に早朝や夕方は活発に活動すると言われ

ているので、細心の注意を払いましょう！

## ●山にクマがいるのは当たり前

山にクマがいるのは当然と思って山に入りま

しょう。クマの糞や足跡を見つけたら、近くに

いる可能性があるため、すぐに引き返しましょう！



●生ごみをむやみに捨てない

残飯や生ごみは、クマの誘引になります。

味を覚えることで人に近づくようになるため

ゴミは放置せず、必ず持ち帰りましょう！



●であ  
出会ってしまった場合



●騒がず、物を投げつけない

近くで出会ってしまったときには、大声で騒がないようにしましょう。クマが興奮してしまうかもしれません。

また、近くにある物をクマに向かって投げついたりするとクマを興奮させる可能性があるので危険です。

●走って逃げない

クマは逃げるものを追う習性があるため、背中を見せて走って逃げるのは大変危険です。あわてず、クマから目を離さないように、ゆっくりと後退してください。

あわてた人の急な動作に驚いて、攻撃してくることがあるので、クマを刺激しないようにしましょう。

また、クマと目を合わせることは、攻撃をしかけられていると思われるので危険です。

●子グマに注意

子グマの近くには、親グマがいる可能性が高いので、かわいいからといって近づくと危険です。親グマは子グマの危険を感じ、近寄ってきた人間を攻撃してきます。

落ち着いてその場を離れましょう！

●あわてない

人間があわてて物音を立てると、クマもあわてて興奮してしまうかもしれません。

クマがこちらに気づいていない場合は、あわてず、騒がず、静かにその場を立ち去りましょう。

●気をそらす

近くで出会ってしまったときには、背負っているリュックなどの荷物を置いて、クマの注意をそらすことも一つの方法です。クマに背を向けずに落ち着いてゆっくり後退してください。





